

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	樋口 舞				
実務経験とその関連資格	作業療法士として回復期の身体障害領域に従事。 心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 その後、放課後等デイサービス、小児・成人の訪問リハビリを通し、生活期のリハビリに関わる。 生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修修了。				
《授業科目における学習内容》					
1)自身のキャリアにつながる基礎を築く。 2)作業療法士が行う作業療法に関する管理運営業務について学ぶ。 3)作業療法業務に付随する業務を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
・実習地評価：(情意領域) ・学内評価：(臨床技術領域、臨床思考領域)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
各実習施設で指示された教材。					
《授業外における学習方法》					
見学し疑問に思った点や分からないことについて、その場での質問や実習課題を通じて解決・理解をする。 実際の就職活動を意識して、作業療法業務全般についての理解を深める。					
《履修に当たっての留意点》					
実際に就職をしたことを想定して、臨床で働く作業療法士に必要なマインドや知識、就労についての知識を学ぶ。					
実習プログラム					
実習期間 時間数	2026年 1月19日 ～ 2月21日(学外実習:1日あたり約8時間) 2026年 2月 2日 ～ 2月 4日(学外実習:1日あたり約8時間) 2026年 1月22日、2月5日、他数日 (学内実習:実習セミナー) 合計 45時間				
実習の目的	1)ノーマライゼーションの理念を十分に体得し、人間の基本的人権を尊重して仕事出来る作業療法士を養成する。 2)周囲の支援を受けながらも対象者なりの自立を目指し、生きがいを持って人間らしく満足した生活が送れるように最大限の自立を支援出来る作業療法士を養成する。 3)障害ばかりに目を向けるのではなく、健康科学の重要性を真に理解しその予防に貢献出来る作業療法士を養成する。 4)地域生活を阻害する環境・活動制限・参加制約・機能障害について考え、改善できる作業療法士を養成する。 5)地域生活の維持へつながる作業療法の目的を考え、実践できる作業療法士を養成する。				